

発表項目 (行事名)	公共施設等を利用したラストマイル中継輸送実証実験について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>「物流の2024年問題」に伴う輸送力の低下及び物流の停滞の可能性等を踏まえ、その対策の一環として、宅配サービスの安定化に向け、行政と運送事業者の連携のもと、<b>宅配貨物輸送に用いる新たな中継拠点の確保による輸送方法の効率化に向けた実証実験</b>を行い、ドライバーの労働環境の改善、今後の実装化に向けた課題等を把握する。</p> <p>○実験方法 小平町内に新たな中継拠点を確保することにより、同町北部の鬼鹿地区に係る輸送を、現配送拠点（留萌市、羽幌町）から、近距離に位置する中継拠点経由へシフトすることにより、日々の輸送効率を高める。</p> <p>○効率化のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・配送に係る車両数の削減</li><li>・留萌営業所から鬼鹿地区への集荷配送に係る往復分の運行距離削減</li></ul> <p>○対象地域 小平町</p> <p>※関連地域は1市3町（留萌市、小平町、苫前町、羽幌町）</p> <p>○実験期間 令和6年11月27日（水）～令和7年1月31日（金）</p> <p>○実施体制 北海道交通企画課、留萌振興局地域政策課、小平町、ヤマト運輸（株）</p>		
参考			

報道（取材） に当たって のお願い			
他のクラブ との関係	同時配付 同時レク	(場所)留萌振興局記者クラブ	

担当 (連絡先)	総合政策部 交通政策局 交通企画課 物流企画担当課長 椋平（むくひら） 剛史（内線：23-822） ダイヤルイン 011-204-5796		
-------------	---	--	--

# 1 実証実験の目的

「物流の2024年問題」に伴う輸送力の低下及び物流の停滞の可能性等を踏まえ、その対策の一環として、宅配サービスの安定化に向け、行政と運送事業者の連携のもと、宅配貨物輸送に用いる新たな中継拠点の確保による輸送方法の効率化に向けた実証実験を行い、ドライバーの労働環境の改善、今後の実装化に向けた課題等を把握する。

# 2 実証実験の概要

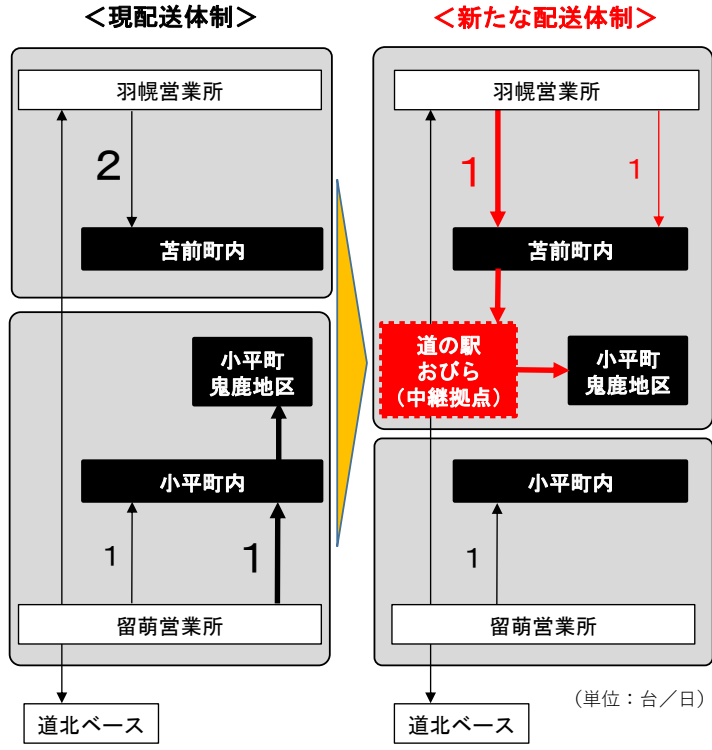
○実験方法  
小平町内に新たな中継拠点を確保することにより、同町北部の鬼鹿地区に係る輸送を、現配送拠点（留萌市、羽幌町）から、近距離に位置する中継拠点経由へシフトすることにより、日々の輸送効率を高める。

- 効率化のポイント
- ・ 配送に係る車両数の削減
  - ・ 留萌営業所から鬼鹿地区への集荷配送に係る往復分の運行距離削減

○実験期間  
令和6年11月27日～令和7年1月31日

○対象地域  
小平町 ※関連地域は1市3町（留萌市、小平町、苫前町、羽幌町）

- 実施体制
- ・ 北海道交通企画課
  - ・ 留萌振興局地域政策課
  - ・ 小平町
  - ・ ヤマト運輸(株)



# ■搬出入経路（想定）



貨物積み替え方式による  
中継輸送の実施

幹線輸送車動線



ラストマイル輸送車動線

